

勉強嫌いのその先は

堂本学

内容

勉強嫌いのその先は.....	1
勉強しない中学生はほっとくのが一番？勉強嫌いの未来の事例を紹介.....	3
勉強にセンスや才能は必要ない！誰でも成績はアップする理由.....	7
筆者：堂本 学.....	12

『筆者：堂本 学』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

勉強しない中学生はほっとくのが一番？勉強嫌いの未来の事例を紹介
学習をする上での精神論

勉強をしない中学生は、ほっとくのが一番なのか気になる場所ですね。

勉強をしない子供に「勉強をしなさい」というと、逆にしなくなります。

じゃあ、ほっとくとどうなるかと言えば、親の気を引こうと色々と無茶なことをする子供も出てくるでしょう。

本記事では、勉強をしない中学生に対し、ほっとくのが一番なのかどうかについてお伝えをしていきます。

勉強をしない中学生の子供と言っても、人によっても性格が違います。
なので、ほっとくというのが正しい場合と、間違っている場合があるのです。
たとえば、ほっとくと、いつまでも勉強をしない場合は、そのまま勉強をしない子供になります。

なので、その場合は逆に「勉強をしなくても良いよ」と、何度も言ってあげるのです。

以外に「勉強をしなさい」の逆の言葉ですが、かなり効果があると言えます。

「勉強をしなくても良い」ということを、あえて口に出して子供に言うと、自然と勉強を始めるのです。

ただ、以下のようなことは、絶対に口にしないようにしましょう。

- ・勉強ちゃんとしてるの？
- ・成績下がってるのに、なんで勉強しないの？
- ・また勉強もしないで、遊んでるの？
- ・このような、思ってることを言わないのには忍耐力がいらいます。
- ・どうしてもイライラしてしまいますからね。

自然と勉強をするようになるまでは、結構時間がかかってしまいます。

子供に対して全く無関心ではいけないので、ほっとくと言っても見守るようにしたほうが良いでしょうね。

勉強をするという目的を間違えないで！

勉強をするという行為は、なにも各教科のことを覚えなくても良いのです。

たんに、耐える力を養うという意味で、勉強に取り組ませるという方法でも良いと言えます。ただ、子供の考えを間違わせてはいけないのが、「親に怒られるから勉強をする」ということです。

勉強は、親に怒られないためにするものではなく、やらされるものでもありません。

もし、勉強を「やらされている」という気持ちでやっている子供がいたら、直ちに考え方を改めさせるべきです。

筆者の経験ですが、そういう子供が大人になると、自分で考える力が無い大人になってしまいます。

勉強嫌い 2 つの想定される未来とは？

勉強嫌いになったまま、大人になったらどうなるのでしょうか。

筆者が学生のころは、全く勉強をしないでゲームばかりしていました。

そんな筆者は社会人になり、外で働いています。

ただ、勉強嫌いのまま大人になった場合を前提に、想定される 2 つの未来というのが考えられます。

それは、以下の通りです。

- ・引きこもりになる未来
 - ・自分だけで稼ぐ力を身につけた未来
- それでは、一つ一つお伝えしていきましょう。

引きこもりになる未来

勉強嫌いになる理由には色々ありますが、その中で最も多いのが、勉強の内容が分からなくなるということが挙げられます。

筆者も中学生になってから、勉強内容がむつかしすぎて、授業についていけなくなりました。小学生のころまでは、普通にテストでも 50 点以上はあったのです。

しかし、中学生になってからのテストの答えは、一つも回答できずに0点~3点くらいでしたね(笑)

自分に絶望して、誰も味方になってくれないというネガティブな感情が買ってしまうと、ひょっとしたら、筆者は引きこもりになっていた可能性も否定できません。

勉強嫌いになった中学生の子供の未来は、引きこもりになる可能性もあるので、色々と共生をしないで慎重に対応していくことが大切です。

自分だけで稼ぐ力を身につけた未来

勉強嫌い・成績が悪いからと言っても、頭が悪いというケースは少ないと言えます。

学校の勉強だけがすべてではないので、不登校になる道が子供が選んだとしても、受け入れてあげることも大切です。

筆者の場合は、子供のころからお手伝いをする中で、お金を稼ぐということを学んできました。

なので、自分で稼ぐためには、どうすれば良いのかということを知っていたのです。

ネットで稼ぐための方法を、子供のころに探したことがありますよ。

筆者の場合は特殊な例なので多くの子供に当てはまりませんが、自分で稼ごうと必死になる場合も考えられます。

自分で稼ぐ力を養わせるために、親が教えるという方法もありますが、色々とリスクはあるかもしれません。

勉強しない中学生を勉強好きにする方法

勉強をしない中学生を、勉強隙にする方法は簡単です。

勉強という行為そのものを、ゲーム化してしまうのです。

「勉強は遊びじゃない！」という人も、確かにいますね。

あなたが「勉強は辛いものであり、我慢しなくてはいけない」と考えているなら、それは間違いです。

もし、そう考えているなら、こどもにまで「勉強は辛いもの」と教えてしまっている可能性があります。

間違っても、勉強を罰を与えるものにはしてはいけません。

勉強は楽しいと子供に思ってもらうためには、ゲームのようにしてしまうのも一つの方法なのです。

まとめ

基本的に、勉強が嫌いになるのは、勉強が辛いものだと思っているからでしょう。

勉強は辛いものではないということを、親自身が子供に教えてあげるほうが良いです。

ただ、勉強ができない過去を持つ人の場合は、とくに「勉強は辛いもの」と考える傾向にあります。

筆者が考える勉強というのは、自分のスキルアップのためにするものだという事です。

スキルアップをするためには、楽しくなるように工夫をするのです。

勉強に対する考え方を变えることで、勉強をしないということもなくなり、自分から進んで勉強をするようになるでしょう。

勉強にセンスや才能は必要ない！誰でも成績はアップする理由

学習をする上での精神論

成績の良い子を見て、「あの子はセンスや才能があるから」という感じで、羨ましく思っていないませんか？

筆者が学生のころは、よく成績の良い子を見て「センスや才能があるから、勉強ができるんだろう」と考えていました。

確かに、親も頭が良くて子供も頭が良いということは、良くあることかもしれません。

しかし、実は成績アップは誰でもできますし、センスや才能は必要なかったりもするのです。

本記事では、勉強にセンスや才能は本当に必要なのかや、センスや才能より優れた学習方法を紹介していきます。

結論から言えば、勉強にセンスや才能は全く必要ではありません。

必要なのは、「努力する事」と「知ろうという意思」だけです。

結局、「成績アップにはセンスや才能が必要」と考えているのは、現実逃避であり自分に甘えているだけだと言えるでしょう。

勉強ができる人は才能があるように感じられますが、勉強ができるようになるまでに、かなり努力をしてきた結果だと言えます。

勉強がしんどいと思うのは、知識が無い最初のころです。

しかし、理解を深めていくことによって、成績はぐんぐん伸びるようになります。

高校入試などに合格しようとするなら、一生懸命勉強をするしかないのです。

つまり、勉強にセンスや才能は必要なく、努力をすることで誰でも成績アップが可能だということなのです。

努力はセンスや才能だと考える人のやるべきこととは？

「努力こそ、才能だろ？」と考えるひとも、いるかもしれません。

才能とは何なのかを、最初に考えてみましょう。

才能とは、「生まれつきの才知の働き」です。

「音楽の才能がある」というふうに、よく使われることがありますね。

ただ、「才能がある」というのは一種の天才ではありますが、勝てないわけではありません。

確かに、軽自動車と乗用車の差はあるかもしれませんが、軽自動車でもチューニングをしていけば乗用車に勝るエンジンになるのです。

つまり、才能がある人より成績アップするには、自分自身を変えていき努力をする必要があるということになります。

じゃあ、「努力こそ、センスだろ？」という人も、ひょっとしたら現れるかもしれません(笑)

センスという意味を、次は考えてみましょう。

センスとは、理解や表現の良さなので、努力をセンスだというのは違和感があるように感じられます。

センスというのは、元々英単語の「sense」で、感覚や理解などや認識という意味があるのです。

使い方としては「今日の服装はセンスが良いね」という感じで、使われます。

つまり、勉強にはセンスや才能は必要なく、必要なのは努力だということです。

才能やセンスの正体はコレだ！

才能やセンスという言葉の正体は、簡単に言うと「後付け」です。

人は結果しか見ていないので、いくら頑張っても「才能やセンスがあるから」で片付けられるのです。

つまり、人が頑張った結果だけで人は判断をしているので、後から付け加えられただけの言葉だということになります。

実際に、才能があるから結果を出せたという事例は、実はありません。

さらにいえば、勉強というジャンルに限らず、スポーツやビジネスにおいても、「才能があるから結果が出せた」ということはないのです。

例えば、メジャーリーグで活躍したイチローこと、鈴木 一朗さんはNPB/MLB 通算でのプロ野球における通算最多安打数を樹立しました。

しかし、これは才能なのでしょう？

違います。

イチローさんは上を目指すために、かなりの努力を積み重ねてきたのです。

その結果が、ギネス世界記録という結果を生み出したのです。

逆に、「俺は才能があるから練習をしなくて良いんだ」という考えの人が、ギネス世界記録

を生み出せるのかと言えば、生み出せないでしょう。

勉強も同じで才能があるから、結果が出せるわけではないのです。

努力をして小さなことを積み重ねてきた結果が、成績アップにつながったということです。

センスや才能よりも優れた学習方法

やみくもに勉強をすれば良いわけではなく、分からないところは学年を落として、基本から学んでいくほうが良いです。

現在中学3年生でも小学6年生くらいの学習をしても、おかしくはありません。

たまに、「恥ずかしいこと」と受け取る人もいますが、これは大きな勘違いです。

なぜなら、勉強に「恥ずかしい」ということはないからです。

小学生、中学生と分けしているのは、学校というシステムによるところが大きいように感じます。

ただ、勉強をするという立場の学生にとっては、そういう分けに縛られないで、理解ができない部分があるなら、理解できていないところを探し出し、理解ができるようになるまで勉強をするほうが良いのです。

筆者の考えは、無理をしない範囲で勉強の量を増やし、勉強の質を高めていくことです。

そういう風にすれば、かならず成績アップにつながっていくでしょう。

通信講座を利用するのも一つの方法

成績アップを目指すなら、通信教育を利用するのも一つの方法です。

色々ある通信教育の中でも、「スマイルゼミ」をおすすめしたいです。

なぜなら、スマイルゼミには、生徒一人一人に合わせた個別指導のシステムがあるから。

たとえば、現在の学習で分からない部分があれば、さかのぼり学習が可能です。

さらに、「つまずき解析」というものがあり、どこが苦手なのかが具体的にわかるようになっています。

数学の問題なら、問題を解く過程からから間違いを分析し、つまずきの原因を正確に把握で

きるのです。

家庭学習で自分でもできるのですが、どこが理解できないのか 1 人だけの学習の場合は、「分からないところが分からない」という状況になっている可能性が高いです。

「ここが苦手だろう」という適当な考えで、さかのぼり学習をしても、全く意味が無かったということも少なくありません。

スマイルゼミでは、そうした「つまずき」を正確に解析し、さかのぼり学習によって基礎を学ぶことができ苦手を解消することができるのです。

タブレットで学ぶ幼児・小学生・中学生向け通信教育[スマイルゼミ]

まとめ

勉強というのは才能やセンスがあるからできるのではなく、努力をして初めて結果が出るのです。

結局「才能」「センス」という言葉は、結果の後につけられた言葉であり、自分に対する甘えからできたものだと言えます。

成績アップを目指すなら、努力の積み重ねをしたほうが良いでしょう。

筆者：堂本 学

小学生のやる気を出させたら宇宙一！

小島よしおもビックリのヒカキンネタで笑わせます><